

# 美郷「梅酒特区」

# 新酒完成 評判は上々

向けて製造者は自信を深めた様子だった。

全国初の梅酒特区に認定された吉野川市美郷地区で7日、認定後初めての新酒の試飲会が開かれた。参加者の評判は上々で、発売に

## 住民ら2種飲み比べ

28・29日 地元まつりで販売

東野さん製造

試飲会が開かれたのは、特区でただ一人、リキユール製造免許を取得して梅酒造りに取り組んだ東野宏一さん(67)方。招かれた地域住民や梅農家約50人が、琥珀色に輝く2種類の梅酒を飲み比べた。

ものとフルーティーで口当たりの良いタイプがあり、参加者は「フルーティーなのは女性に好まれるだろう」「ここのあるタイプは湯や水で割っても飲める」などと感想を述べ合った。東野さんは「思った以上に好評でうれしい。自信がっ

いた」と喜んでいた。2種類の梅酒は28、29日に美郷地区で開かれる「梅酒まつり」で発売する。いずれも500円(500ml)に詰め、1本2500円。まつりでは商品化した梅酒のほか、梅の品種や漬け方を変えた6種類の試作品も飲み比べできる。

東野さんは今年地元元の梅農家から仕入れた青梅を5、6月に漬け込み、約1・5歳を製造した。



梅酒特区認定後初の新酒を飲み比べる住民ら—吉野川市美郷川俣の東野さん方